

福岡女子大学 同窓会

第97号



筑紫海会会報



事務局 福岡女子大学地域連携センター内 TEL・FAX (092) 692-3194
ホームページ-http://www.fwu.ac.jp/tukusimikai/または「筑紫海会」で検索

同窓会と大学との関係は

筑紫海会会長 江島 玲子(大21食)



受け取りました。

筑紫海会会員の皆様には日ごろから同窓会へご理解ご協力、また、大学百周年事業へのご協力に對しまして心より感謝申し上げます。

令和元年度の筑紫海会総会を、新しい体制がスタートいたしました。同窓会はどうあるべきか問い続けた一年間でした。昨年1月発足の会長選考委員会、その後の理事會に大学から前会長再任のお願いの文書が出され、大学の要望が聞き入れられなかったというところで、昨年8月に大学から同窓会事務局等の退去通知を

森永泰子先生

(第7代筑紫海会会長)を偲んで 江頭 勝子(大17園)



森永 泰子先生

同窓会は、今までの同窓生や地域の方を対象とした特別講演会、さらに筑紫海学園やつくしみ山荘の経営など、地域貢献活動を行ってきた歴史もあります。

この数年は、学生を対象とした大学との共催で、事業を行ってきておりますが、これからは、それとともに同窓会の事業の柱となるものを作っていくと考えるしております。変化の激しい社会情勢の中、対子ども、対高齢者、対外国人など、地域社会が抱え、私どもに求められる課題は多くあります。同窓会が有する財産の一つ、会員の皆様の能力・経験などを活かし、社会貢献として、継続した形で取り組むことはできないかと考えております。皆様からのご意見、ご支援等をぜひお願いいたします。

波紋

総会当番学年ご挨拶 実行委員長 別府 きみ(大37園)



福岡女子大学は「女専」の創設からやがて百周年を迎える。私が福岡女子大学家政学部を卒業したのは55年前。因みに私たちはこの伝統の中のちょうど中間期に在学していたことになる。当時は大学で学んだ専門性を活かせる職場は教職以外に門戸は狭く、私も一般企業の社員となった。

一方、今や福岡女子大学には私たちが属した学部も学科も無くなり、構内にも当時の面影は薄い。母校の前進発展を喜ばしく思いながらも、実のところ距離感も禁じ得ない。今、大学との絆を保っている礎という点で、同窓会・筑紫海会の存在は大きい。昨年、大学1回卒の方々が数名で当地に旅され、ご一緒する機会があった。米寿とは思えない生気溢れるお姿に、青春のふる里・福岡女子大学が蘇る思いだった。数少ない公立女子大学の同窓会である。在学生の支援も視野に入れつつ、大学と共に前進できたらと願っている。

令和2年度 筑紫海会総会&懇親会のご案内

令和2年度総会及び懇親会を下記のとおり開催します。ご多用中とは存じますが、お誘い合わせの上ご参加ください。

- 1 日時 令和2年5月17日(日) 午前11時~午後3時(予定)
2 場所 西鉄グランドホテル 2階プレジール
3 会費 7000円(当日受付)
4 議事 (1)令和元年度事業報告・決算報告
(2)令和2年度事業計画・予算案
(3)役員改選報告
(4)その他

懇親会

申し込み方法はがき・FAX・メール(書面)でお願いします。4面の申し込み用紙をご利用ください。

申込締切 4月20日(月)必着

- 準備の都合上、必ず事前申し込みをお願いします。
キャンセルは、5月13日(水)16時までに。
当番学年 今年度 大学37・38・57・58・66回生
来年度 大学38・39・59・60・67回生

福岡女子大学美術館

第4回春の企画展

会期: 4月17日(金)~5月24日(日)
9:00~20:00(土曜日は17:00まで)
会場: 福岡女子大学美術館
馬場明子氏に関連する企画展等が開催されます。

100周年事業寄附金

2月末現在 39,920,000円

ご協力に感謝申し上げます

振込用紙は同封してありません。寄附金に関する場合は、福岡女子大学学生支援グループ(092-661-2418)におたずねくださいますようよろしくお願いいたします。

恒吉 佳久子(大12被) 宮崎支部

# 支部だより

## 大分支部

### 支部総会の開催準備中

支部長 柳沼 みちる(大32英)

オリンピックキヤーを迎えた今年、3年ぶりに大分支部総会の開催の重要性を噛みしめているところです。去年、支部長を交代して、最初に手掛けたことは名簿の整理でした。女性はどうしても婚姻による改姓の可能性が高く、また地方都市の特徴として、仕事で親元を離れる可能性も多々あるため異動が多く、毎年名簿整理は欠かせません。また、今年度よりパソコンのデータとして整理しております。その上で大分支部便りを送

予想外の問題発生です！  
昨今は通常口座開設でさえ難しく、グループの場合には実在することを確認する資料として、会則が最重要事項になります。実はこの会則の一部が金融機関で承認していただけないことが判明しました。改善点は十分納得のいくものでした。ただし、会則文を変更する場合は、総会を以てしか実行できません。後の引き継ぎを容易にするためにも総会の開催準備に着手しております。  
大分支部会員は大分県全体に広く分散しており、以前の総会参加者の様子から想像すると、大まかな地区別に回していくことも難しく思われます。開催場所選びにはなかなか苦労しているところです。



くじゅう花公園

## 北九州支部

### 支部のつながりを探って

副支部長 坂口 洋子(大14国)

北九州支部には、名簿の上で、600名程の会員が属しておられます。実際に支部の活動にかかわりを持ってくださるのには、理事を含めて、50名前後の方々とどまっています。何とかその輪を広げたいと、理事会がとっている方法は二つ。一つは、毎年の総会の当番を、50才を迎える学年にして、働き手の若年化を図ること。もう一つは、会の魅力を増すために、「お楽しみ会」を計画していること。こちらは、総会を終えた学年が担当することになっています。



旧蔵内邸にて

企画がなされてきました。総会参加者とは違った顔ぶれに加え、他支部の方の参加もあり、会員の親睦に役かっています。近年、支部の資金が少なめになってきましたが、工夫次第で、少ない予算で開催可能な企画を練り、続けていこうとしています。大学のシステムの变化、学生の意識の変化等で同窓会への参加意識が希薄になりがちな昨今ですが、同窓会のつながりの窓口としての働きが果たせるよう、そのあり方を探っているのが北九州支部の現状です。



## クラス委員会報告

令和元年10月13日(日)  
なみきスクエア 視聴覚室

クラス委員66名、筑紫海会役員15名、総数81名、傍聴者9名の出席で開催されました。

○江島会長挨拶  
○同窓会からの報告

・4月21日 開学記念式典にて国際教養学科のディッキー・ソフィア・ハナさんに筑紫海会賞を贈呈  
・5月26日総会、参加者172名  
・11月2・3日、かすみ祭、つくしみ会室でバザー

・今年度から会報が年1回の発行となる。  
・筑紫海会クリアファイル販売中  
・総会のお知らせ

○協議  
・大学との連携について  
同窓会の大学への協力や支援はこれまでと変わることなく、今後とも協議を続けていくことが報告された。

ほぼ3時間にわたり同窓会運営や事務局退去について活発な意見が交わされた。最後に百周年募金の見が出された。

## 支部長会報告

令和元年11月9日(土)  
つくしみ会室

13支部長、筑紫海会長、副会長1名、理事8名、事務局2名総数25名出席で支部長会が開催されました。

○同窓会本部より  
○筑紫海会賞を贈呈(クラス委員会報告)

○5月26日の総会にて、前会長の続投を求める緊急動議が出たが、採決の結果、否決された。その後新役員案が承認された。  
○大学百周年募金について

## 協議

○各支部からの報告  
・会費納入に銀行口座へのネット振り込み利

用を試案中。  
・女子大の先生が開発された納豆石けんを販売し、3万円程度の収益金を百周年事業に寄附の予定。  
・同窓会は心の拠り所、年に一度お会いすることとで互いの無事を確認し、仲良くこれからのリーダーを支えようというポリシーで行っている。  
○江島会長より  
会長選考委員会発足からこれまでの大学との連携についての報告と活発な協議の後、途中、大学より副学長が来られた。その後、同窓会の大学への協力や支援はこれまでと変わることは全くないこと、今後も協議を続けていく意向であることを報告。

## 筑紫海会 平成30年度決算報告及び令和元年度予算 (単位:円)

	科 目	平成30年度決算	令和元年度予算
収入の部	同窓会入会金	4,290,000	5,400,000
	年次会費	3,889,000	4,050,000
	受取利息	28	0
	雑収入	1,118,277	300,000
	繰越金	2,354,498	1,924,079
	収入合計	11,651,803	11,674,079
支出の部	人件費	2,393,722	2,430,000
	(給料)	2,105,700	2,130,000
	(交通費)	188,020	200,000
	(福利費)	80,000	80,000
	(退職引当金)	20,002	20,000
	事務局費	1,149,659	1,364,000
	(通信費)	342,189	400,000
	(事務消耗品費)	108,502	190,000
	(備品費)	0	50,000
	(HP管理費)	3,240	20,000
	(名簿管理費)	264,000	264,000
	(家賃・光熱費)	431,728	440,000
	会議費	1,311,472	1,540,000
	(会議費)	93,580	200,000
	(総会費)	351,572	450,000
	(旅費・交通費)	866,320	890,000
	事業費	4,514,848	3,210,000
	(専門部活動費)	1,033,237	1,050,000
	(支部助成金)	760,000	760,000
	(会報)	2,671,611	1,350,000
(つくしみ会賞)	50,000	50,000	
慶弔費	194,523	200,000	
交際費	63,500	90,000	
予備費	100,000	400,000	
支出合計	9,727,724	9,234,000	
繰越金	1,924,079	2,440,079	
合計	11,651,803	11,674,079	

## サークル通信「福女大フィルの始まり」

国際教養学科3年 原野 友希 (令和2年1月寄稿)

私たち福岡女子大学フィルハーモニーオーケストラ、略して福女大フィルは、2017年から活動を開始しました。発足して間もない頃は、活動場所や楽器の保管場所もままならない状況でしたが、大学や筑紫海会の応援のおかげで、2017年12月に大学で開催されたイルミネーション点灯式にて、私たちは遂に人前で演奏することが出来ました。それ以来、かすみ祭をはじめとする大学の行事や、東香園で行われた音楽祭などで演奏して、現在まで活動してきました。特に毎

とで、楽器を弾く感覚を体が徐々に覚え、より良い音色を奏でることができるようになっています。合奏の練習をすると、それぞれの楽器が奏でた音が、皆の呼吸が合うことでひとつになるのを感じます。私にとってこの体験こそがフィルの醍醐味です。



### フレデリックにあらがれて

副島 恭子さん(天22画)



本を読むのは大好きでした。それも、自分で読めるようになってからです。

私が小さい頃は、現在のように赤ちゃんから絵本を(ブックスタート)という時代ではありませんでした。絵本について殆ど知りませんでした。母親になってから、その素晴らしい世界

を集める才能を持った詩人だからです。私は学生時代、父の仕事の関係で転校ばかりしていました。排他的な土地柄の学校では、いつもひとりぼっちでした。ですから、私の唯一の友達は本でした。本の中のことは力の元気づけられて、なんとか寂しい現実をやり過ごすことができたのです。そんな経験があるからでしょう。母親になってからはなし会活動を始めたのは、自然の成り行きでした。「おはなし会」

とは、図書館などで子どもたちに絵本を読んだり、おはなしを語ったりするボランティア団体のことです。福岡市百道にある総合図書館では、もう40年以上活動を続けています。

私は35年前、城南図書館で活動をスタートさせました。幼いわが子を連れての楽しい活動でした。たぐさんのいい絵本や胸を打つおはなしに出会い、仲間たちを支えられて今に至ります。

子どもたちにいい本と出会ってほしい。ことばの美しさを感じてほしい。そんな想いで活動しています。ことばは自分を表現するものでもありますし、自分の心

を救ってくれるものでもあります。すべての子どもたちになどと大それたことは思っていませんが、私自身が救われたように、悩める子どもたちにおはなしや本のおもしろさを知ってほしいと願っています。ことばを集める喜びを知って、少しいただけフレデリックに近づけたのかもしれない。

よね、こんなだったよねといった具合で作っておきますので、紹介するのも恥ずかしいのですが、女専でできた、こんなお料理があります。一度お試しください。

の長さに短冊切り。  
③サラダ油で①と②を炒める。  
④③に①の戻し汁と水を加え、やわらかくなるまで煮る。  
⑤やわらかくなったら、砂糖、塩、酢で味をつける。軽い甘酸っぱさと薄い塩味。  
⑥水溶き片栗粉と細切りキヌサヤを加え、とろみをつける。適度なとろみがついたらできあがり。  
⑦お皿にご飯を盛り、できたての⑥をかけ、さあ、スプーンで召し上がれ。

材料・調味料はお好みで調整してください。  
中華風ライスだと思えます。

### 「縁」を大事に

株式会社インテリジェルスケア 取締役 久野 弘恵さん(天31食)



私は現在「医薬品のマーケティングリサーチ」という、多分皆さんがあまり耳慣れない仕事に従事しています。

どのような仕事かという、医師がどの薬剤を、どのような理由で処方しているのか、飲みやすさや使いやすさ、効果・副作用に対する患者サイドからの評価はどうか等、医薬品に関する様々な立場からの情報を収集し、分析して提言するという仕事です。

この仕事に携わるようになったきっかけは本当に偶然で、転職活動をしている中で、自宅から近く、医療関係で堅実そう...という理由だけで選んだものでした。そこで初めに配属されたのが、主に情報収集を担当する部署で、会社専属の医療専門インタビュアさんにお仕事の依頼や内容の説明をして、医師に対するインタビューのスケジュールを管理したりする業務でした。医療もリサーチも未経験、専門用語の嵐に翻弄され、手探りしながらなんとか期限までに終わらせるといふ毎日。自分でインタビューすることもありませんでしたが、社内の打ち合わせもよく分かっていたのにも、医師の言っていること



なんて全くチンプンカンプン。分かっていないふりの愛想笑いでは、絶対に誤魔化しきれいなかったと思います。しかし、そんな慣れない私をインタビュアの皆さんが一生懸命盛り立ててくださいました。彼女たちに楽しくいい仕事をしてもらうために、私もプロとしてスキルアップしたいと、バタバタしながらも充実した日々を過ごせたことは、今でも感謝しています。

入社から2年半後、そこから独立する形で新しい会社を設立する動きがあり、私は新会社に行くことを決意しました。お世話になったインタビュア

さんや先輩との別れの寂しさ、5名での立ち上げに正直不安もありましたが、「各々の得意分野を生かし、尊重しあえる会社に出来るはず！」という期待感の方が大きかったと思います。またその頃には私自身「インタビュア」という仕事の面白さ、奥深さにはまり、自分のライフワークにしたいと考えるようになっていました。どうしたら本音を聞き出せるのか、より深いコミュニケーションの選り方や声のトーンをどうすればいいのか等、日々反省や発見があり、また多くの尊敬できる方々にインタビュアを通じて出会えたことが、この仕事を長く、楽しく続けられた理由だと思っています。

その会社も、合併や統合、社名変更などを経て、一昨年12月に創立25周年

を迎え、現在は社員数も300名を超えました。私自身の立場や役割は変わりましたが、後進の指導とともに、自分もまだまだ成長するぞ、という気持ちで日々過ごしています。

振り返ってみると、素敵な方々との「縁」に支えられここまで来れました。これからも「縁」を大事に、まだしばらくは仕事で会社と関わっていこうと思います。

第67回かすみ祭 令和元年 11月2日(土)・3日(日・祝)



折り紙コーナー



バザーの様子